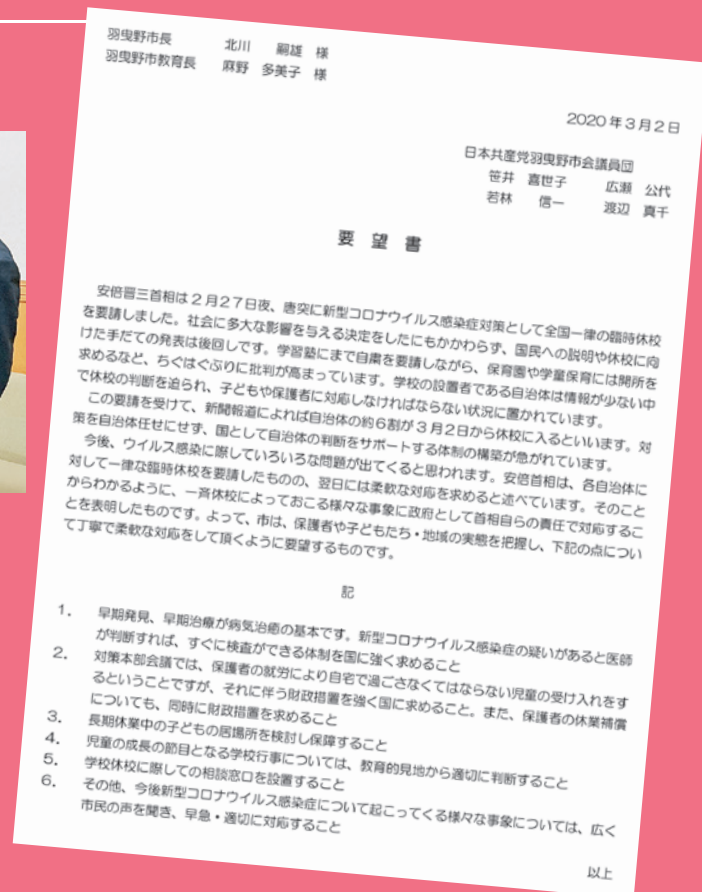


コロナウイルス対策について

要望書を提出しました



3月2日に日本共産党市会議員団は、「新型コロナウイルス対策についての要望書」を北川市長と麻野教育長に提出。地域から頂いた「家に閉じこもっている子どもたちが心配」「今後起こりうる健康や経済的な不安に市として対応してほしい」などの声を届けて具体策を要望しました。



中央スポーツ公園内 建設予定の市民プール

令和4年4月オープン予定の中央スポーツ公園内の市民プールは、屋内温水プールが設置されますが、学校のプール授業との共用であるため使用が制限されます。さらに、西浦の市民プールのように子どもたちが楽しめる流れるプールもなく、夏季だけ多目的広場に仮設の遊具プールが設置されるだけです。何よりも子どもたちの歓声が上がるようなプールがほしいと要望しました。



新型コロナウイルス感染症に対するご意見について

新型コロナウイルス感染症に対するご意見やご要望やお困りのことなどは、下記のアドレス・ファックスにお寄せください。日本共産党羽曳野市会議員団では、皆さんからいただいたご意見を活かして対策を進めるよう要望していきますので、ご協力どうぞよろしくお願いいたします。

日本共産党羽曳野市会議員団

ホームページ ▶ <http://www.jcp-habikino.net>

FAX ▶ 072 (950) 4008 (市役所内議員団控室)

日本共産党 ——— 日本共産党羽曳野市会議員団 ご意見・ご要望をお気軽にお寄せ下さい ———



羽曳野市で

保育園の門の安全と 軽度難聴児への 補聴器補助が実現！

保育園の門の安全対策実現

子どもの施設である保育園では安全対策が不十分でした。学校で行われているような安全対策を要望し、公立保育園すべての門扉にオートロック錠と監視カメラが設置されることになりました。



安全対策が進んで
安心できます

子どもの補聴器補助で 「聞こえ」をサポート

難聴児にとって「聞こえ」の力をつけるためには、早期に補聴器をつけることが必要です。18歳未満の軽度難聴児(30デシベル以上60デシベル未満)への補聴器購入補助が4月から実現できました。

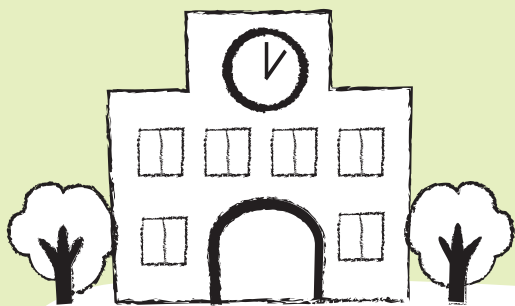
(例) 耳掛け型の場合 基準額 46,534円

購入金額	46,533円以下	46,534円	46,535円以上
補助額	購入金額の3分の2	31,023円	31,023円

*ポケット型 基準額 56,074円

1台あたりの補助上限額を超える場合、超過した額は保護者負担となります。補聴器を購入する際に前もってご相談ください。

あなたの声でまちづくり

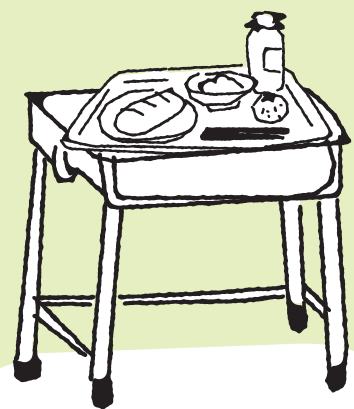


子育て・教育の充実を

安心して子育てするには、悩みをいつでも相談できる場所が必要です。市内各小学校区にある公立幼稚園は、その役割を担ってきました。今後も身近な地域の相談支援の拠点を残して子育てを充実させていきましょう。

35人学級の
拡充を

また、小中学校では不登校やいじめが増えています。教職員が生徒児童一人ひとりに丁寧に接することができる少人数学級を望む声が大きくなっています。35人学級の拡充で子どもの学びを大切にしていきたいと思います。



中学校の 全員給食実現を

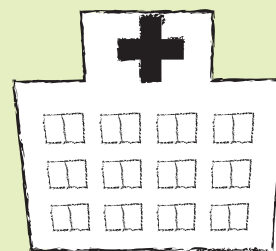
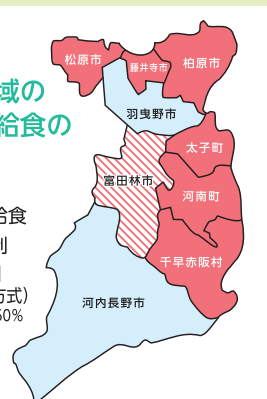
羽曳野市の中学校給食の現状は、選択制でクラスの3人ほどしか利用しておらず、コンビニのパンやおにぎりやインスタント食品を食べている子ども達も少なくありません。この実態を把握しながら、市は選択制を見直そうとします。一刻も早く、みんなで同じものを食べる中学校の全員給食を実現しましょう。

給食は
教育の一環



周辺地域の
中学校給食の
実態

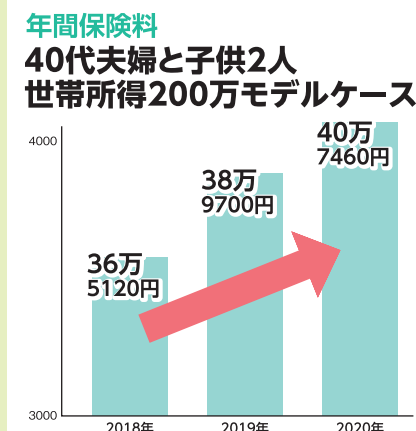
■ 全員給食
■ 選択制
■ 選択制
(自校方式)
喫食率50%



子育て世帯の
保険料負担
軽減を！

高い国民健康 保険料の値下げを

羽曳野市でも、2019年度に続き2020年度もすべての世帯で保険料が上がり、市民の負担は大きくなっています。羽曳野市には、保険料の剰余金を積み立てた基金が約7億円あります。この基金を使えば、高い保険料を下げることは可能です。さらに、子どもの均等割り分の保険料を減免して子育て世代を支援していきましょう。



誰もが住みやすい 公共交通の充実を

羽曳野市では、駅から周辺への公共交通が少なく、通勤・通学や買い物にも不便な地域もあります。公共施設循環バスは無料で利用できますが、停留所も少なくバスの路線も不十分です。バスやタクシーなどの交通料金の補助や予約できる乗り合いタクシーなどの制度を創設して、誰もが住みやすい公共交通の充実を一緒に作っていきましょう。

交通空白地域を
なくす施策を！



歴史や世界遺産を 活かした まちづくりへ

地域の魅力を
発信

歴史や世界遺産を活かし、地域の活性化を図るには住民の参画と共同を軸にすることが重要です。歴史・文化の価値や魅力を子どもからお年寄りまで広げる活動を通し、地域の歴史的な資源や残された自然と文化を活かしたまちをつくらせていきましょう。